

■令和3年第4回定例会(9月6日～30日) 本会議で審議された議案とその結果

議案番号	付議事件名	議決結果
承第 8号	専決処分の承認について 損害賠償の額の決定について	承認
認第 1号	令和2年度美濃市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
認第 2号	令和2年度美濃市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認第 3号	令和2年度美濃市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認第 4号	令和2年度美濃市下水道特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認第 5号	令和2年度美濃市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認第 6号	令和2年度美濃市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認第 7号	令和2年度美濃市病院事業会計決算の認定について	認定
認第 8号	令和2年度美濃市上水道事業会計決算の認定について	認定
議第55号	令和3年度美濃市一般会計補正予算(第6号)	可決
議第56号	令和3年度美濃市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決
議第57号	令和3年度美濃市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議第58号	令和3年度美濃市下水道特別会計補正予算(第1号)	可決
議第59号	令和3年度美濃市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決
議第60号	美濃市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議第61号	美濃市税条例の一部を改正する条例について	可決
議第62号	美濃市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について	可決
議第63号	市道路線の認定について	可決
議第64号	令和2年度美濃市上水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
議第65号	美濃市教育委員会委員の任命について	同意
議第66号	美濃市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議第67号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
議第68号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
議第69号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
議第70号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
議第71号	財産の取得について	可決
請第 1号	美濃市健康文化交流センターの利用(利用料金表の改定等)に関する請願	不採択
市議第5号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	可決
市議第6号	こども庁の設置を求める意見書	可決

本会議の流れ

- ①議案の上程
- ②議案の説明
- ③議案への質疑・答弁
- ④委員会付託(付託されない場合⑦へ)
- ⑤委員長報告
- ⑥委員長報告に対する質疑
- ⑦討論
- ⑧採決

討論とは

議案が採決される前に、議員が賛成又は反対の立場に立って自分の意見を表明することを「討論」といいます。  
 議案について反対なら「反対討論」、賛成なら「賛成討論」となります。  
 討論をすることで、意見の異なる相手に自分の意見に同調してもらえるよう働きかけることにもなります。



令和3年第5回定例会の日程

※令和3年度補正予算、条例の制改定等について審議します。

第5回定例会	
11月29日(月)10:00 本会議	12月15日(水)10:00 総務産業建設常任委員会
12月13日(月)10:00 本会議(質疑・一般質問)	12月16日(木)10:00 民生教育常任委員会
12月14日(火)10:00 本会議(一般質問)	12月20日(月)10:00 本会議

★編集後記★

コロナ禍の影響は多岐にわたり、行政視察をはじめ、各種の視察を中止しました。いろいろな活動について情報発信できるときが一刻も早く訪れることを願わずにはられません。紙面の都合上、主な内容に絞っており、詳細については美濃市議会ホームページ等をご参照いただくと幸いです。

皆さまからのご意見を参考に、親しまれ、読みやすい紙面に改善できるよう努力してまいります。

連絡先 0575-33-1122(内410・411) 市議会だより編集委員会

【編集委員：須田盛也(委員長) 辻文男(副委員長) 豊澤正信 服部光由】

# みの市議会だより

【No. 06】  
美濃市議会  
令和3年12月発行



令和3年第4回(9月)美濃市議会定例会について

新型コロナウイルス感染症対策を講じ、会期を9月6日から9月30日までの25日間として開催しました。

専決処分1件を承認、決算認定8件を認定、補正予算5件、条例改正3件、その他3件、追加議案2件を可決、人事案件6件を同意しました。請願1件は、不採択となりました。

9月 6日(月)・・・本会議(議案説明等)	21日(火)・・・総務産業建設常任委員会
	22日(水)・・・総務産業建設常任委員会
16日(木)・・・本会議(代表質問1名 一般質問5名)	27日(月)・・・民生教育常任委員会
	28日(火)・・・民生教育常任委員会
17日(金)・・・本会議(一般質問3名)	30日(木)・・・本会議(採決)

議員セミナーに参加

令和3年度岐阜県市町村議会議員セミナーが8月27日(金)に開催され、美濃市議会からは12名の議員が参加しました。

千葉商科大学の笹谷教授を講師に「自治体SDGsについて」90分の講演を拝聴しました。

コロナ禍ということで、美濃市役所でのオンライン研修となりました。



① 山口育男 議員 会派代表質問 (美濃市議会市政クラブ)



問：市政2期8年の成果と今後の展望は。  
 答：市政を担った7年7か月の間、対話と現場主義のモットーで、現場に出向き、市民の声に耳を傾け、市民が何を求め、どうすれば、お応えが出来るかを常に考え、実行してきた。少子高齢化や人口減少への対策・観光の推進などに取組み、第5次総合計画の概ね半数以上の目標値を達成。人口問題など様々な課題がある中、策定段階から多くの市民に市政への期待や願いを語って頂き、昨年度末に、「健康でうるおいのあるまち」「子どもたちが誇りに思う輝くまち」「魅力と活力あふれるまち」「安全・安心なまち」の4つの基本目標を掲げた第6次総合計画を策定した。第6次総合計画を着実に実施することで、市民の夢をかなえる元気なまちを実現したい。  
 今まで、「住みたい 住み続けたい まちづくり 健康日本一を目指して」とし財政状況をもっとしっかりと考え市政を担ってきた。まだまだやらなければならない課題が山積みになっていることもあり、これらの課題を解決し、市民の安全・安心と地域の活性化を実現するため、今一度、来年の市長選挙に出馬し、引き続き市政を担っていきたい。

# 9月議会 各議員による一般質問

質問の詳細情報は、記載のQRコードより視聴できます。

## ② 梅村辰郎 議員 (美濃市議会市政クラブ)



■美濃市の農業6次産業化の取組について  
問：農業6次産業化とは。支援制度について。  
答：農業者が生産、加工、販売を一体的に行い高付加価値を生む取組により、所得の向上を目的とするもの。支援制度には施設整備補助や融資制度、相談支援などがある。  
問：大矢田の農産物加工施設の概要等について。  
答：美濃にわか茶屋生産者の会がニンニクを加工し黒ニンニクとして商品化する加工施設。美濃市産ブランドとなることを期待する。  
問：今後の方針はどのようか。  
答：6次産業化の取組が一定の課題解消につながるものとして、市は積極的に支援する。  
■(仮称)池尻笠神工業団地開発計画について  
問：本計画の進捗状況について。  
答：この計画は十分な用地面積が確保できないこと、造成にかかる費用が莫大であること、立地企業が事前に決まらなると農産計画の認可が得られないことから、現実的に困難な状況となっている。  
問：今後の見通しについて。  
答：まず開発行為が可能となる道路幅員の拡幅を進めるとともに、市全体の土地利用の見直しを行い企業誘致を推進していく。

## ③ 豊澤正信 議員 (美濃市議会市政クラブ)



■2年中止になっている美濃まつりについて  
問：関係者より、今後の開催が危ぶまれる声が出ている美濃まつりについて、市は観光資源として、どうとらえているか。  
答：美濃まつりは市の観光資源として重要なコンテンツであるので、市として何ができるのか、今後も、関係者の方々と意見交換をする中で、何とかして存続ができるよう検討していきたいと考えている。  
例えば、財政面の支援としては「花みこしを担ぐ権利」を返礼品としてふるさと納税をして頂いたり、あるいは、クラウドファンディングで資金を集めるということも考えられる。また、担ぎ手の確保としては、市外にお住いの美濃市出身の方々や、美濃まつりに興味がある方々に担ぎ手として参加して頂くようなことについても、関係者の方々と意見交換して参りたいと考えている。  
いずれにしても、美濃まつりは、交流人口の増加、地域消費の拡大、地域住民の絆づくりなど色々な観点から重要な観光資源であるので、関係者の方々と十分知恵を出し合いながら進めていきたいと思うのでご協力いただければ幸いである。

## ④ 松嶋哲也 議員 (美濃市議会市政クラブ)



■美濃市と武義高校の関わり方について  
問：少子化が進む中、武義高校を地域活性化の資源と位置づけ政策を進めるべきと考えるが、市の考えはどのようか。  
答：武義高校の学校経営計画では、「ふるさと教育」を通して、地域の魅力を理解し、地域課題の解決を提案する生徒の取り組みを支援することとされている。今後も、民間企業と高校の連携が進んでいくものと期待しており、市としては、活動を側面的に支援したい。  
また、今後、議員の皆様や高校から具体的な政策の提案があれば、前向きに検討したいと考えている。  
■美濃市防災訓練の実施方法の変更について  
問：「市民一斉訓練・災害対策本部設置訓練」の概要とその成果はどのようであったか。  
答：市民一斉訓練においては、防災無線等で市内全域に訓練の周知をしたので、各家庭でも話題にさせていただき、防災意識の向上につながったものと考えている。災害対策本部員会議では、地震発生1時間後、24時間後の情報収集のあり方について協議を行うとともに、災害時の初動や本部としての役割について確認し、理解を深めたところである。

## ⑤ 岡部忠敏 議員 (公明党美濃市議員)



■高齢者や障がい者等、自ら避難することの難しい災害弱者の避難支援について  
問：災害弱者の「逃げおくれ」を防ぐ避難情報の周知はどのようか。  
答：災害などが発生した際、同報無線、防災ラジオ、防災あんしんメール、携帯電話でのエリアメール、ケーブルテレビの放送や自治会長への電話連絡、緊急時には市の広報車、消防車両による巡回等、複数の手段により避難情報を発信している。  
降雨時や暴風雨時には、防災無線が聞こえない場合があるので、「高齢者等避難」や「避難指示」を発令した場合には自治会や民生委員の方を通じて声かけによる避難情報の周知を行っていただいている。  
問：災害弱者の早期避難を実現する個別避難計画の作成状況はどのようか。  
答：市としては、市民の安全安心を守ることを目的に、自ら避難することができない「真に支援が必要な方」について早急に調査し、その方々の個別避難計画を作成する。作成にあたって、自治会、近隣でどう支援するのか十分協議し、計画を作成していく。

## ⑥ 服部光由 議員 (日本共産党美濃市議会議員)



■健康文化交流センターの運用について  
問：美濃市健康文化交流センターの  
①利用料金の補助制度の進捗状況  
②駐車料金の無料時間の延長  
③児童ルームに専門員の配置はできないか。  
答：①制度を検討中。年内に公表予定  
②現状のまま実施  
③配置する予定はない。  
問：新型コロナ感染症の拡大を防止するために美濃市独自の感染対策・PCR検査等の取組ができないか。  
答：県が示す予防的検査の方針以上に市独自では考えていない。  
問：児童に貸与されているタブレット端末に関わる保険において不適切な加入お誘いが行われたが、その経緯と教育委員会の対応はどのようなものだったか。  
答：保険会社に誠実な対応を要請し、加入者146名中12名が契約を解除した。保護者には、故意等以外の修理は教育委員会が行うと周知した。

## ⑦ 辻 文男 議員 (しんし)



■公共施設の維持管理等への取り組みについて  
問：教育施設の市体育館や旧美濃北中についての考えは。  
答：市体育館は、これ以上の対応が困難であり、関係者等と屋内スポーツ施設の整備に向けた検討を8月から始めている。  
旧美濃北中は財政面を考慮し、当面の間は、現状のままで管理していく。  
問：長良川遊水地計画に連動する都市計画道路や市道の整備の考えは。  
答：都市計画道路段・西洞線は、現状において事業化の予定は無い。  
下渡橋から山崎大橋間の市道は、遊水地計画に合わせて2車線化を図っていく。  
問：財政状況を反映した公共施設の維持管理等の実施計画を早急に作成すべきでは。  
答：美濃市公共施設等総合管理計画に基づき事業を推進しているが改修、更新、修繕には1000億円超の投資が必要と推計されている。  
全ての施設更新は財政的に無理があるので、廃止や統合、規模の縮小などで対応し今後の経済状況や本市の財政状況、国や県の施策などを見据えながら、適切な維持管理に努める。

## ⑧ 古田秀文 議員 (令和みの)



■民間活力による地域活性化について  
問：地域おこし協力隊の起業支援への考え方は。  
答：活動終了後、小椋さんはカフェ兼ゲストハウスと外国人技能実習生支援のNPO法人を運営、大谷さんは地域商社を運営予定。  
■安心安全なまちづくりについて  
問：不審者侵入による万が一の犯罪から子供を守るため学校に防犯監視システムとして防犯カメラを設置し危機管理に対応してはどうか。  
答：夜間等の警報装置や不審者対応マニュアル作成等で対応している。直近10年間で授業中に不審者が学校に侵入した事案はなく、現時点の防犯カメラの導入は考えていない。  
問：地域の安心安全の為、自治会がつけた防犯カメラの電気代を防犯灯同様補助できないか。  
答：現在は考えていないが今後、市内全域での設置状況を勘案しながら検討する。  
問：自治会などを対象とした防犯カメラの設置補助制度の創設ができないか。  
答：多くの自治会から要望があったら検討する。  
問：市内の公共施設や道路などに防犯カメラを設置し、市民の安全安心を守る考えはどうか。  
答：公共施設は現在5施設に設置している。道路は関警察署との協議が整い次第設置する。

## ⑨ 永田知子 議員 (明るい美濃)



■美濃市吉川土地区画整理事業について  
問：本事業のこれまでの取組と完了に向けての市長の見解はどのようか。  
答：仮換地終了後、保留地を健康文化交流センターの敷地として組合から購入。本年3月、施設が完成、地域全体の有効活用が図れたと考える。現地工事も完了、一刻も早い本換地に向け、事業を進められたい。  
問：市側と組合側は事業の完了について相互理解に至っていない。本質的な問題は何か。  
答：組合側は連絡道路建設を土地区画整理事業の一部と捉えられている。市は別事業としつつも、実施に向け調整を進めてきたが、結果として不可能な結果となった。  
問：令和2年度の組合への補助金の概算払いの精算がなされていない。組合側が応じない理由は何か。  
答：手続きは年度当初に交付申請・決定→概算払い請求・交付→年度末に事業の進捗状況により精算するもの。令和元年度の整地工事、確定測量業務、連絡道路の調整の遅れが理由で、組合側から事業休止届が市へ提出されていることが要因と考えられる。なお、概算払いについて市の事務的遺漏はない。